



むくの木

No.3

6月号

学校教育目標

[知] 進んでできる子・考える子

[徳] 心豊かな子

[体] たくましい子



「全力で 最高の仲間と 走り出せ」を見事に体現！

校長 佐藤 貴広

ある児童が「巨大なブロッコリーのよう」と形容するほど、青葉繁る「むくの木」に見守られ、5月27日（土）、第48回運動会を開催することができました。今年は、人数制限なく、多くの保護者、ご家族の方に、子供たちの「笑顔 やる気 元気あふれる」姿をご覧いただくことができました。本校では、団体種目や表現種目を低学年、中学年、高学年のブロックで行



うため、体育の時間から2つの学年と一緒に練習してきました。また、応援合戦の練習は、校庭でも体育館でも全校が集まって行ってきました。このように、本校の子供たちは、年齢の異なる仲間との触れ合いがとても多く、兄弟姉妹のような関係をより豊かに経験しているように思います。代表リレーの練習の後、6年生数人が率先してゼッケンを畳んでいました。

「偉いね。」と声をかけると、「6年生ですから。当然です！」との返事。頼もしく、そして嬉しく感じました。きっと今の6年生も、これまでの6年生の姿を見て、最上級としての自覚や振る舞いがどういうものか肌で感じ、学んできたのだと思います。運動会当日は、6年生のリーダーシップに下級生たちが呼応し、一人一人が見事に、「全力で 最高の仲間と 走り出せ」のスローガンを体現しました。心温まる豊かな時間を全校で共有できたと思います。

運動会は、学習指導要領では特別活動に位置付けられています。小学校の特別活動には、学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事があります。特別活動は、様々な集団活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して行う活動です。運動会を通して、子供たちが特別活動の目標達成に迫ることができたかどうか。我々教職員は検証し、次へのステップとしてまいります。

さて、今月は5年生が大貫海浜学園で4年ぶりの宿泊体験学習に臨みます。いつもと異なる生活環境の中で、集団生活の在り方や、よりよい人間関係について考えたり、自然や文化に親しんだりすることをねらいとする特別活動です。特別活動の評価は、教科の学習のように点数には表れませんが、特別活動で育まれた資質・能力は、社会に出た後の様々な集団や人間関係の中で生かされるはずで、教科書では学べないことを、子供たちには実感を通して学び取ってきて欲しいと思います。